

市政のここが聞きたい

6月定例会市議会は、6月6日、9日、10日の3日間にわたり13人の議員が一般質問を行いました。その質問の中から1人2質問まで要約して掲載しました。

なお、詳しい内容をお知りになりたい方は、市立図書館などで6月定例会市議会会議録（9月上旬発行予定）をご覧になるか、インターネットで検索してください。

《加藤 保博》 文化、芸術施設の充実に

問 1 県下有数の充実度を誇るスポーツ施設に比べ、芸術施設は市民ギャラリーぐらいいいか思い浮かばない。文化を発信する展示拠点施設が必要と考えるが、市長の考えはどうか。

答 2 国民文化祭で本市は日本画展示などを担当すると聞いているが、現状の施設で十分対応が可能なのか。この際、既存の建物を利用するなど施設整備を前向きに考え、国民文化祭が終わっても常設展示場として継続して使える施設を考えていただきたい。



展示場として活用される市立図書館内の展示ホール
しながら、国民文化祭を実施し、文化芸術度を高めていきたい。（市長）

商店街通りの整備について

問 街なみ環境整備事業により区域を定めて整備してきたが、平成23年度で終了後、整備された区域を今後どのように生かすのか。

答 このエリアはよき景観の雰囲気を生かしながら修景施設整備を進めていかなければならないと考えるが、補助事業が平成23年度で終了するため、その後は地元と協議して、財政状況を勘案しながら、さらに検討し直していきたい。このエリアは当初は商売のエリアであったが、時代の変遷とともに生活と商売が混在するエリアになったと思う。近代、明治、大正、レトロな雰囲気の総社らしさを醸し出しているのは、やはり商店街筋だと思ふ。今後このエリアには、商業、生活に加え、観光という発想を加えていかなければならないと思う。（市長）

《松浦 政利》 地球温暖化対策について

問 1 県下一を目指して、温室効果ガスの削減数値目標を定め、市民に積極的な活動呼びかけのべきと考えるが、その数値目標を定める考えはないか。

答 2 温室効果ガス削減には、太陽光発電システムの導入が近道と考えるが、積極的な導入にどのように対応していくのか。また、設置に対する補助金が少ないが、補助金の増額は可能か。

答 1 第二次計画で、平成24年度には、17年度対比6.8%削減を目指して制度化していきたい。環境を考える集いなどで、温室効果ガスの削減に向け、市を震源地として市民に発して、協力を得たい。
答 2 平成19年度を期限に8万円を限度として太陽光発電システム設置費に補助していたが、市民から強い要望があり、平成20年度も継続して補助している。その後



太陽光発電システム

《赤澤 康 宏》 精神障害者地域移行支援特別対策事業について

問 精神障害者地域移行支援特別対策事業は、地域移行推進員が精神科病院と連携をとり、地域移行支援会議で患者とよく話し合いながら地域移行支援計画を作成し、地域移行を実現するものであるが、本市は社会福祉協議会の地域活動支援センターに委託する予定と聞く。本市にも地域自立支援協議会が平成13年3月に設立され、障がい者と関係機関のネットワークをつくりつつある。ぜひ精神障害者地域移行支援特別対策事業を、この協議会の中にしっかりと位置付けてほしい。本市も精神障がい者が置かれている状況を真剣に受け止め、立ち遅れてきた精神障がい者の支援を社会福祉協議会だけに任せただけでなく、保健師や職員を配置して、予算計上し、多くの精神障がい者が地域の中で人間らしく、楽しく、

豊かに暮らせるよう取り組みでほしい。具体的取り組みをどうするのか。
答 この事業は、地域での受け入れ条件を整えば退院可能な精神障がい者に対し、ケアマネジメントの実施や援助を行い、地域生活への円滑な移行、安定した地域生活の実現を図る目的で本年度から岡山県が実施するものである。備中県民局の地域移行推進協議

《片岡 茂 夫》 東部まちづくり（都市計画マスタープラン）について

問 1 現在、服部駅の南側に月極駐車場があるが、ほとんど契約ができており、一時預かりができる状態ではない。吉備線の利用促進の観点からも、一時預かりの駐車場を増設する考えはないか。
答 2 LRTに対する本市の取り組みの話が聞こえてこないが、関係機関に対し、どのような働きかけを行ったのか。また、今後の取り組み

みはどうか。
答 1 現在、駐輪場と月極駐車場をパーク・アンド・ライド施設として利用してもらっているが、一時預かりの駐車場は整備していない。吉備線の利用促進や地球温暖化防止の観点からもパーク・アンド・ライドは有効な手段と考えている。財政状況を鑑みながら、吉備線の電化、LRT化についての調査研究を行っていく中で、服部駅や周辺の整備などと合わせて検討していきたい。
答 2 吉備線は、本市と岡山市

有機農業について

問 1 有機農業の推進にあり、行政の役割をどのように考えているか。

答 2 堆肥は土作りに不可欠である。有機無農薬の農業を推進するため、堆肥工場の建設が必要と考えるが、どうか。

問 1 食育、地産地消ということで有機栽培を奨

励し、学校給食や産地づくり対策に助成している。今後は米のみならず、その取り組みに対し、市内全域の農業者や農業団体に有機JAS講習会への参加案内をしながら、積極的に有機農業の推進を図っていきたい。

剪定木々の枝葉をチップにして粉碎し、それを積み重ねてシルバークリーンという肥料を作っている。市としても堆肥の研究をするため、平成20年度に長野県千曲市を視察研究する予定である。今後も堆肥工場の建設を引き続き検討していきたい。（市長）